

「次々社内導入が増えるクラウドサービス」と「在宅勤務」で
情報システム部門を悩ませるネットワーク・・・

時間もコストも削減。 クラウド化・テレワーク化時代の ネットワーク運用の在り方



〈概要〉

クラウドサービスの利用増加やテレワーク推進の影響を受け、情シス部門ではネットワークに関するトラブルやセキュリティの強化など、さまざまな対応を迫られています。

ネットワークが複雑化し、負荷も拡大する今、ネットワーク運用は「フロー分析」による対応が重要となってきます。

本書では、クラウド化・テレワーク化時代のネットワーク運用の在り方として「フロー分析」ツールの活用について解説します。

本書の内容が役立つ読者

- ✓ 社内ネットワーク・インターネットの負荷状況や原因を早期に把握したい方
- ✓ セキュリティ面をより強化したい方
- ✓ フロー分析ツールを導入したい方
- ✓ 生産性を改善したい情シス部門の方

etc...

【1章】クラウド化・テレワーク化で情シスを悩ませるネットワークの複雑化・負荷拡大

- 様々なクラウドサービスを利用することで複雑化したネットワーク
- テレワークの推奨が更にネットワークの負荷を拡大。社員の生産性低下の原因に…
- ネットワークトラブルの問題解決に時間をかけ過ぎ、他業務が完全に回らない
- セキュリティの強化も必要に!?あなたの会社にも潜んでいる対策すべきリスク

【2章】時間もコストも削減。クラウド化・テレワーク化時代のネットワーク運用の在り方

- 今の時代にあったネットワーク運用の理想形
- ネットワークフローを把握するなら「フロー分析」が重要
- ネットワークフローを把握。トラブルのスピード解決へ。
- ファイヤーウォール、エンドポイントだけでは足りない。今の時代に必要なセキュリティ
- ネットワークフローツール選定のポイント

【3章】ネットワークの分析 + セキュリティの強化を同時に実現する「Flowmon」

- Flowmon (フローモン)が解決する課題
- Flowmon (フローモン)の特徴
- 導入実績

会社概要

お問い合わせ先

1章

クラウド化・テレワーク化で情シスを悩ませる

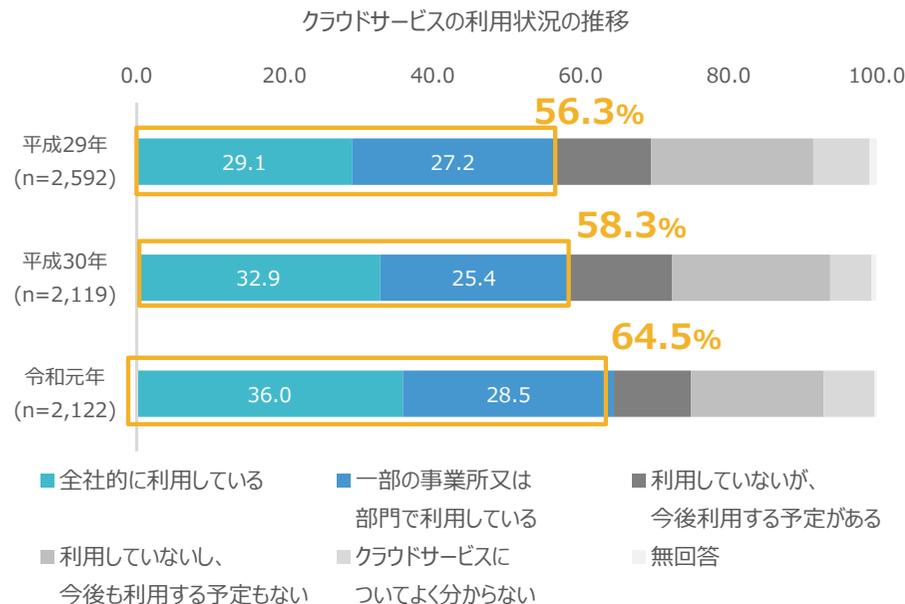
ネットワークの複雑化・負荷拡大

様々なクラウドサービスを利用することで複雑化したネットワーク

ファイル共有・保管やチャット、Web会議システム、Office365など、さまざまなクラウドサービスを利用する企業が増加傾向にあります。クラウドサービスの利用により、生産性等への向上を実感する企業は多いですが、その一方で、ネットワークへの負担状況は複雑化され、原因の特定に時間がかかるため、その場しのぎのネットワーク設備拡大などにコストをかけているケースも少なくありません。

クラウドサービス利用増加に伴うネットワークの複雑化

増加する企業のクラウドサービス利用



出典：総務省「令和元年 通信利用動向調査報告書（企業編）」より作成

ネットワーク負荷の原因特定も困難になり、コスト高に

負荷拡大



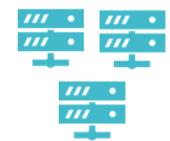
クラウドサービスの利用が増え、ネットワークへの負荷が拡大。

原因調査



負荷の原因となっているアプリなどの特定が困難。

対応



対処療法的にコストをかけて、ネットワークを強化・増設。

テレワークの推奨が更にネットワークの負荷を拡大。社員の生産性低下の原因に…

近年では、働き方改革の推進や感染症対策としてテレワークの導入を進める企業も増えてきています。

それに伴い、VPNなどの利用も増え、ネットワーク負荷が拡大し、社員の生産性低下につながっているケースも少なくありません。

例えば、利用者が増えたことで、ファイルサーバーへのトラフィックが集中し、接続が切れてしまったり、ネットワークが遅くなってしまうと、全社の業務効率や生産性に悪影響を及ぼすなどが挙げられます。

トラフィックの集中によるトラブル



トラフィックが集中したことでネットワークが遅くなり、社員の作業効率・生産性が低下

ネットワークトラブルの問題解決に時間をかけ過ぎ、他業務がうまく回らない

利用しているアプリケーション・クラウドサービスが多様化していることに加えて、ネットワークの利用量全体が増加しているため、ネットワーク遅延・切断をはじめとしたトラブルの原因特定に時間が多くかかっていることもあります。

上記により、**情報システム部門として、ネットワークトラブル対応以外の業務に時間をかけられず、部門全体で見ると生産性が低下してしまっているという課題に悩まされている企業も少なくありません。**

ネットワークトラブルへの対応に時間を取られる

増える社内からの問い合わせ



ネットワーク遅延や接続トラブル、各種ツールの使い方や設定に関する問い合わせなど、さまざまな問い合わせが、社内から発生。

時間のかかる原因特定・対応



先述のようにネットワークが複雑化し、一時的なトラブルなのか、継続的なトラブルなのか原因の特定が困難な状況に。

他業務への対応遅延



原因特定の業務に時間を取られてしまい、その他の業務を行う時間が短縮されてしまう。

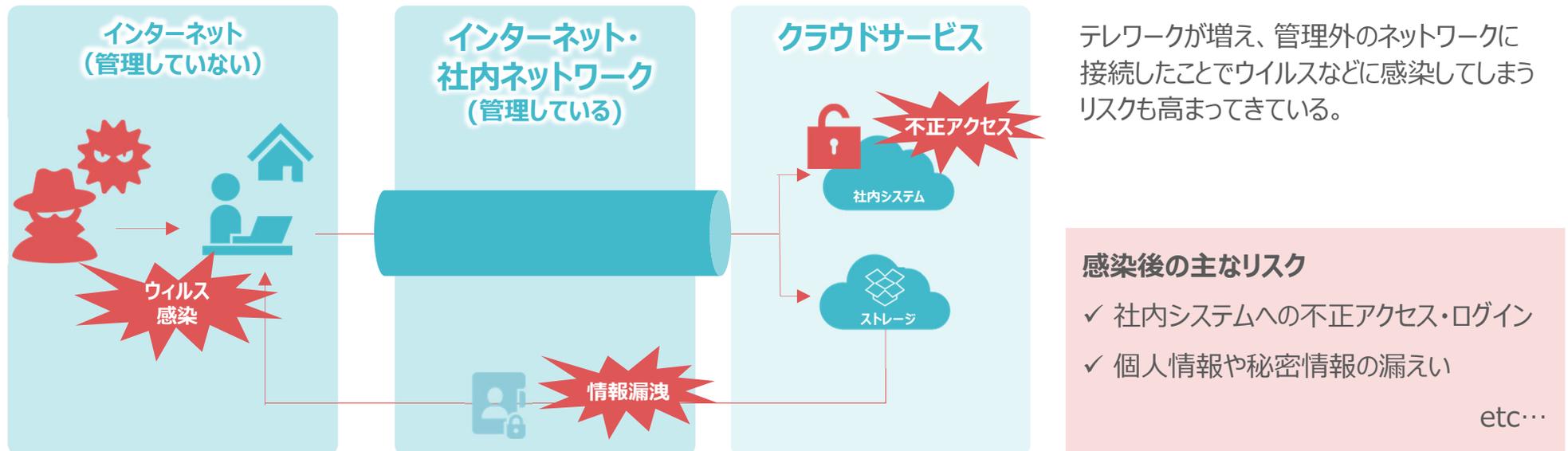
トラブルの原因特定業務が、情報システム部門の生産性低下を招いている

セキュリティの強化も必要に!?! あなたの会社にも潜んでいる対策すべきリスク

クラウドサービスの利用やテレワークによるリモート接続の増加に伴い、セキュリティの強化も必要となってきます。

社員が管理外のネットワークに接続したことでウイルスに感染し、社内システムへの不正アクセスが行われてしまったり、秘密情報を外部サーバーに送信され、情報漏洩につながってしまったりする事態などが考えられます。

不正アクセスや秘密情報の漏洩につながる場合もある



セキュリティリスクへの対応も、従来より、強化することが重要となってくる

2章

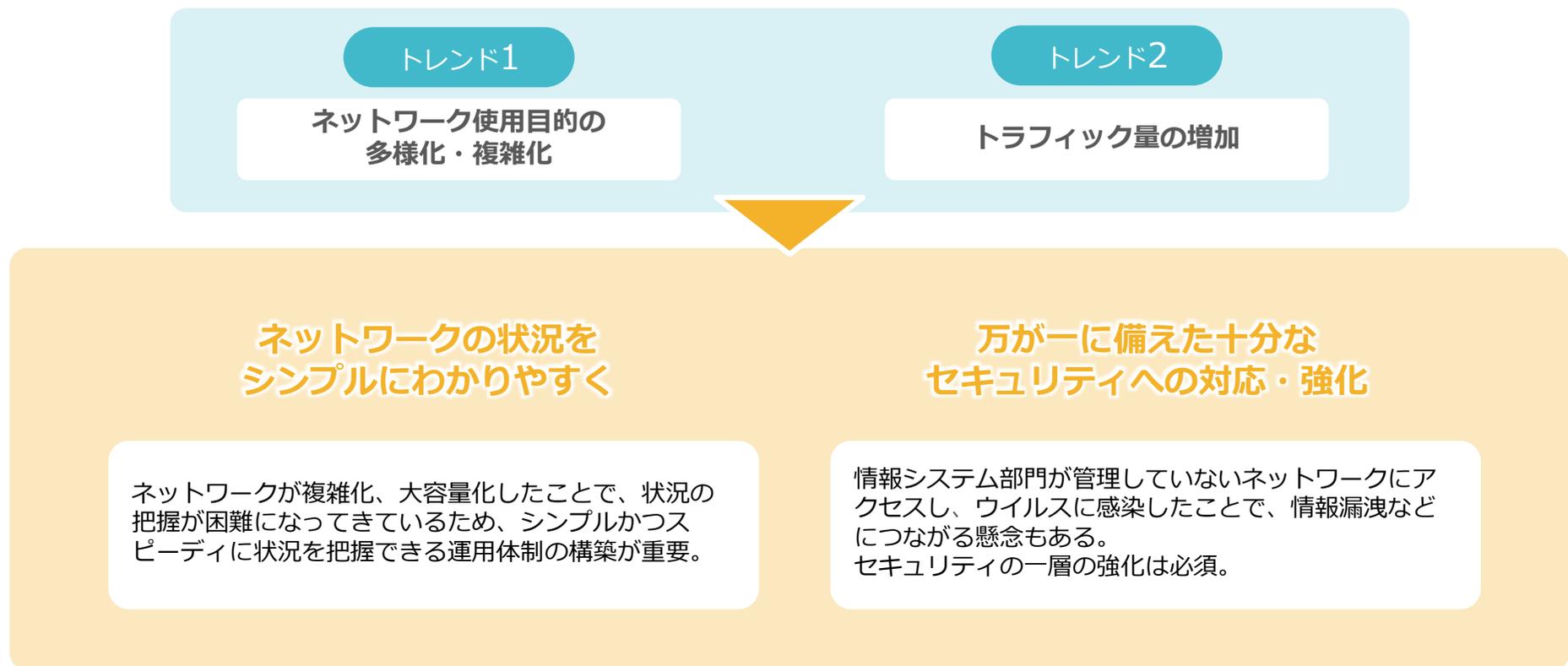
時間もコストも削減。

クラウド化・テレワーク化時代の**ネットワーク運用の在り方**

今の時代にあったネットワーク運用の理想形

今の時代にあったネットワーク運用として、「複雑化したネットワークを可視化する点」と「セキュリティの強化・補填」を両立させることが重要です。

本章では、具体的にどのような運用を行うことが望ましいのかについて解説していきます。



次項からは今の時代にあったネットワーク運用として「フロー分析」の活用について解説 ▶▶

ネットワークフローを把握するなら「フロー分析」が重要

これからの時代のネットワーク運用として、注目されているのが「ネットワークフロー（トラフィックの流れ）」を把握する監視・分析手法です。端末やアプリ単位での負荷状況を詳細に把握できたり、ネットワーク情報の振る舞いを監視することでセキュリティレベルの向上をさせることが可能です。

詳細な分析が可能と聞くと、通信の実データを分析しているように思われるかもしれませんが、必要な情報のみを収集・分析しているため、データの保存容量も重くなりすぎず、分析結果も短時間で表示させることができます。

トレンドに合わせたトラフィック分析手法「フロー分析」

変化のトレンド	主な課題	「フロー分析」なら
ネットワーク使用目的の 多様化・複雑化	端末単位での原因箇所の 特定が困難	宛先IP等のフローデータから 詳細な分析が可能 。
	セキュリティリスクの増加	ネットワークフローから振る舞いを把握することで、 社内外のセキュリティの強化や早期のインシデント検知につながる 。
トラフィック量の増加	分析時間の増加や 保存データ量の増加	大規模・大容量のトラフィックにも対応した 効率的で高速なトラフィック分析が可能 。実データを保存しないため、 軽量での運用が可能 。

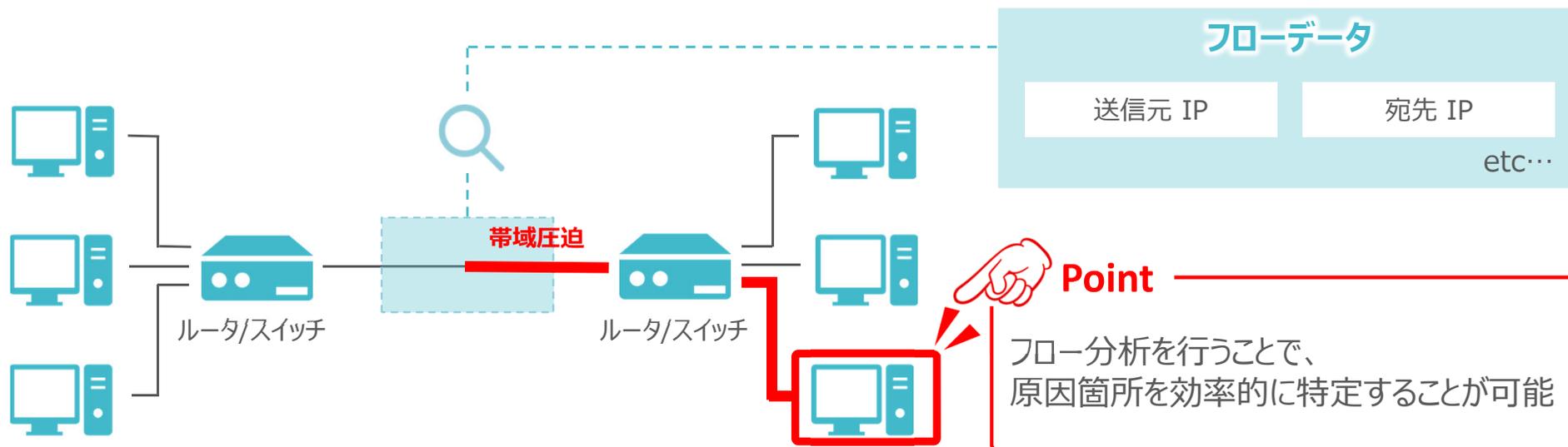
フロー分析なら帯域使用の問題点や改善すべき点を**ピンポイントで把握**することができる

ネットワークフローを把握。トラブルのスピード解決へ。

複雑化・大容量化したネットワークをシンプルに可視化するためには、ネットワークフロー（トラフィックの流れ）を把握することが重要です。

ネットワークフローを見ることで送信元IP や宛先IPなどを把握することが可能となり、どの部署の誰が、どのようなアプリでネットワークを占拠しているのかを特定することが可能となります。これにより、ネットワーク障害や高負荷問題の原因特定がスピーディーとなり、解決までの時短につながります。把握するのに多くの時間やコストをかけるのは本末転倒なため、スピーディに状況把握できる体制・ツールを用いることが重要です。

原因特定のプロセス



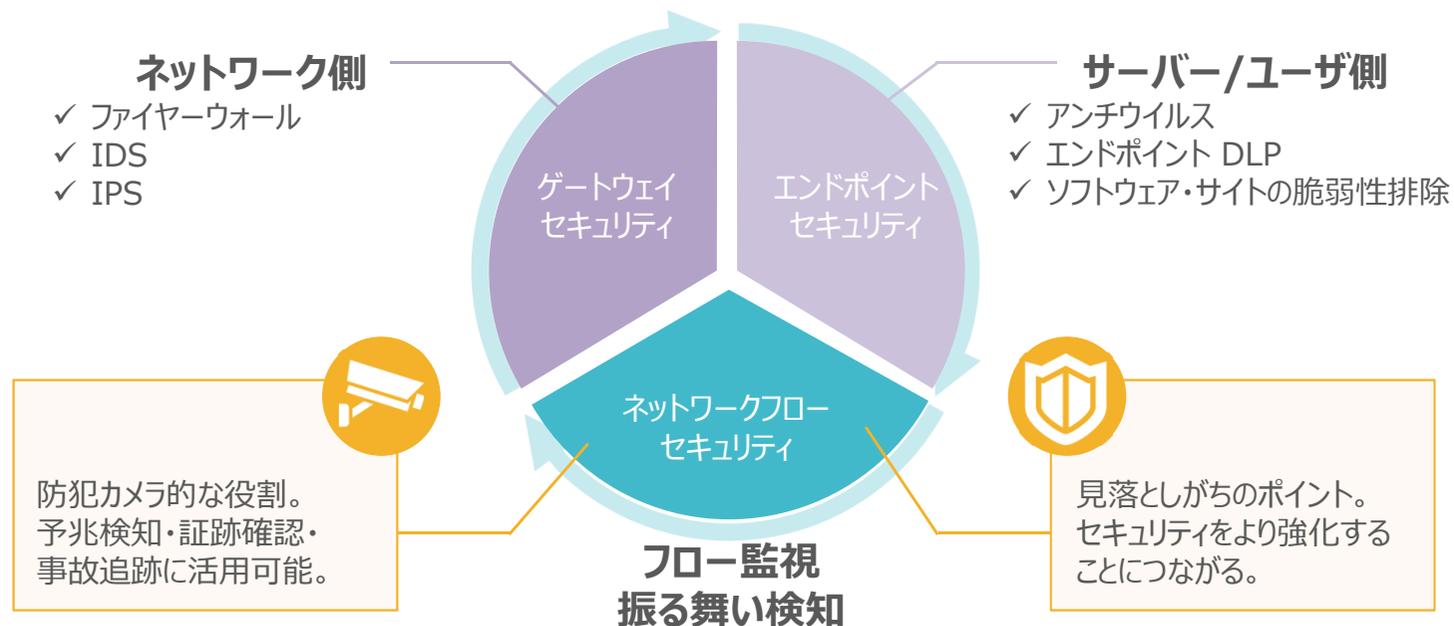
フローデータを確認し、スピーディにトラフィック状況を可視化することが重要

ファイアーウォール、エンドポイントだけでは足りない。今の時代に必要なセキュリティ

トラフィックが複雑化したことにより、セキュリティの強化も重要となります。強化の方法としては、エンドポイントセキュリティやゲートウェイセキュリティに加えて、ネットワーク上の防犯カメラ的な役割として、**振る舞いを確認する(振る舞い検知)**などが挙げられます。

事前の予防・予兆検知のほか、インシデントの早期発見や証跡の確認に用いることができ、被害の最小化や、具体的な被害範囲を早期に把握することなどにつながります。

強化すべきセキュリティポイント



エンドポイント・ゲートウェイだけでなく振る舞いの変化を検知し、セキュリティを強化

ネットワークフローツール選定のポイント

ネットワークフローの分析は、今の時代にあったネットワーク運用手法の一つです。ネットワークフローを分析するためのツールも多く発表されています。一口にネットワークフロー分析ツールといっても、その内容はさまざまですので、自社に合わせて必要なツールを選定することが重要です。以下は、ツールを選ぶ際の主なポイントをまとめた内容となっています。

どの企業でも共通してチェックしておきたい選定のポイント

わかりやすさ



ユーザビリティが低いと、スピーディに原因の特定を行うことができなくなるため、直感的に理解できる様な画面配置や構成、操作性が重要。

レポートの柔軟性



必要に応じて部門毎や事業所毎、アプリ毎などで集計・分析が必要となるため、柔軟な対応が可能なレポート機能があることが望ましい。

費用形態



ツールによって費用形態は異なるため、自社のネットワークフローの状況に合わせて、検討することが重要。

導入のしやすさ



導入するために、ネットワーク機器の買い替えや構成の変更が必要となると、手間が増えてしまうため、導入のしやすいツールであることが重要。

3章

ネットワークの分析 + セキュリティの強化を同時に実現する



Flowmon

Driving Network Visibility

Flowmon (フローモン)が解決する課題

フロー分析によりネットワークの可視化とセキュリティ強化を実現し、ネットワーク運用管理の悩みを解決するのが「**Flowmon (フローモン)**」です。

フロー情報の取得、監視、分析により、ユーザやアプリケーションの利用状況及び振る舞いを可視化することで、トータルのセキュリティソリューションの構築も可能です。

Flowmon (フローモン)のできること

主な課題		Flowmon (フローモン)による解決
ネットワークの可視化	ネットワークの利用傾向を知りたい	フロー分析により、 アプリや端末ベースまでの利用状況を把握できる
	トラブルをスピーディに解決したい	他製品と比べ、 簡単・スピーディーに問題を特定できる
セキュリティの強化	インシデントを早期検知または事前検知したい	いつ誰が何をしたのかなどの振る舞いを即座に分析可能で、早期検知につながる
	標的型攻撃やゼロデイ攻撃などに対するセキュリティを強化したい	アンチウイルス対策で 検知できなかったウイルスを振る舞いなどから発見
その他	ネットワーク内の脅威状況を把握やユーザによるトラブルを防止したい	ネットワーク内の脅威状況を可視化可能。また、 証跡による社内の規律保持やユーザによる不用意な行為を抑止 する機能も搭載

Flowmon (フローモン)の特徴

Flowmon (フローモン)の特徴である「分析のしやすさ」、「導入のしやすさ」、「コストの低さ」は多くの企業に選ばれる理由にもなっています。

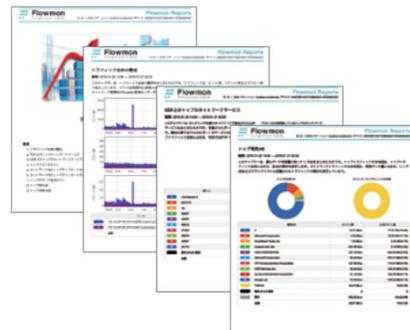
Flowmon (フローモン)が選ばれる理由

分析しやすい



ユーザーの環境に応じ、分析画面のカスタムが可能のため、スピーディな状況把握が容易。

レポートが柔軟



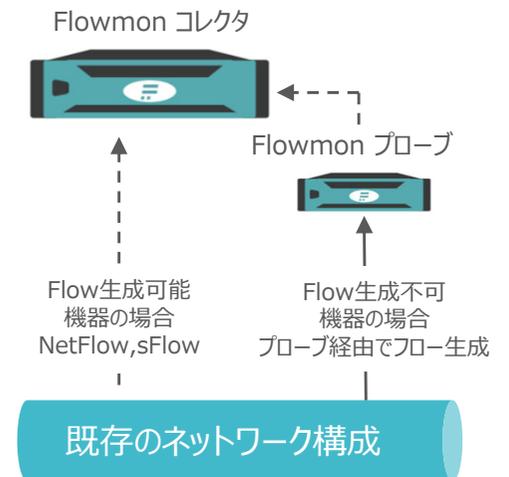
レポートはPDF形式で出力が可能で、期間や項目など、ニーズに合わせたレポートも柔軟に対応可能。

コストが低い



安定した性能を低価格でご提供し、運用時の人的負担やコストも抑制。

導入しやすい



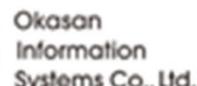
既存機器の入れ替えや買い替え、ネットワーク構成の変更は不要。

導入実績

国内外、さまざまな業種の企業様に導入をいただいているソリューションです。

- ✓ 製造業
 - ✓ 情報・通信
 - ✓ 金融・保険
 - ✓ 不動産
 - ✓ 教育・文教
 - ✓ 電気エネルギー
 - ✓ 広告・マスコミ
 - ✓ 商社
 - ✓ 運輸・輸送
 - ✓ 医療
 - ✓ 中央省庁・自治体
 - ✓ 地方公共団体
 - ✓ 金融系認可法人
 - ✓ 石油・石炭製品関連業者
 - ✓ その他多数
- (上記すべて国内)

主なご利用企業様





会社名	オリゾンシステムズ株式会社
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-56 新宿スクエア7F
URL	https://www.orizon.co.jp/
設立	1998年6月19日
代表者	代表取締役 菅 健一
資本金	4,000万円
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ サーバーおよびネットワークの設計・構築・保守及びコンサルテーション ・ インターネット、イントラネットに関する接続・設計、及び構築業務 ・ 24時間365日体制のマネージドサービス（システム運用支援、システム保守） ・ ソフトウェアの開発及び販売 ・ 海外プロダクトの販売（Flowmon） ・ 機器販売（ハードウェア（サーバー、ネットワーク機器、PC等）、ソフトウェア、その他機器

本資料についてのお問い合わせやご相談は下記までご連絡ください。

ORIZON

オリゾンシステムズ株式会社

お問い合わせ先

Flowmon（フローモン） 事業部

TEL : 03-6205-6083

URL : <https://www.orizon.co.jp/products/flowmon/>

※お問い合わせフォームより、お気軽にご相談ください。